

「鉄のふしぎ博物館」

小学生の時、学校の帰り道、毎日のように父の職場に立ち寄りしました。鍛接（たんせつ）をして鎖（くさり）を作る作業は、私にとっていつも不思議な光景でした。同じ長さに切断された丸い棒をコークスの火で焼いてトントントン、棒の両端を叩のぼして、もう一度トントントンと曲がります。



馬蹄（ばてい）形に作った部品の先端部を再び加熱、出来ているくさりに通してトントントン、白い粉をつけてドンドンドン、つながった輪が出来上がってゆきます。日暮れまで、このリズムカルな職人さん達の動き、ハンマーの音、炉の真っ赤な色、楽しい時間が過ぎて行きました。

硬い鉄がどうして簡単に曲がるの？なぜひっつくの？疑問がふつふつと湧いて来ました。それ以来、今でも、子供の時のように『なぜ？』『何で？』・・・常に考えるようになりました。

この鉄を加工する仕事（鎖や金具を作る）に就いてから45年。鉄の性質や特性、鉄の加工（鍛冶屋しごと）の歴史などに興味を持ちました。人と鉄の関わりを知りたいと思いつけてきました。鉄は身近にあり、十分判っているように思っていますが、実は未知の部分も多く、ふしぎな金属なのです。皆様にその一端を見て頂き触れて頂いて『鉄』のふしぎを体感して頂ければ幸いです。



みんなの博物館です。 来た時よりも綺麗にしてね！

☆ 入場無料です。 ☆ 無料駐車場、近所にあり。



むらの鍛冶屋 館長 新川良介



「鉄のふしぎ博物館」 アクセス



申込手順

ご予約が必要です。開館時間9:00より18:00まで。
土・日曜日・祭日も可能です。最大人数は15名です。

申込書はネット上にあります。

<http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/museum/0100.htm>

申込書(.doc) 又は(.pdf)をメールかFAXをお願いします。

ryou@memenet.or.jp

FAX 079-222-0200

20坪ほどの小さな博物館です。展示品を手にとって見ることも出来ます。

その重さや手触りを体験してみてください。写真撮影可！

来て！見て！触れて！ ふうしぎ体感！！



世界文化遺産 姫路城も見て帰えろかな！！

201909-20K

鉄のふしぎ 博物館



移転しました！

磁石 (じしゃく)

むらの鍛冶屋

672-8023 姫路市白浜町丙612-117
播州製鎖(株)第二工場 事務所3F

予約等 連絡先

新川良介



ryou@memenet.or.jp

TEL & FAX 079-222-0200

090-3050-1515

来て！見て！触れて！ ふうしぎ体感！！